



シングルレバー 混合栓

台付タイプ

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この取扱施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせて使用してください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

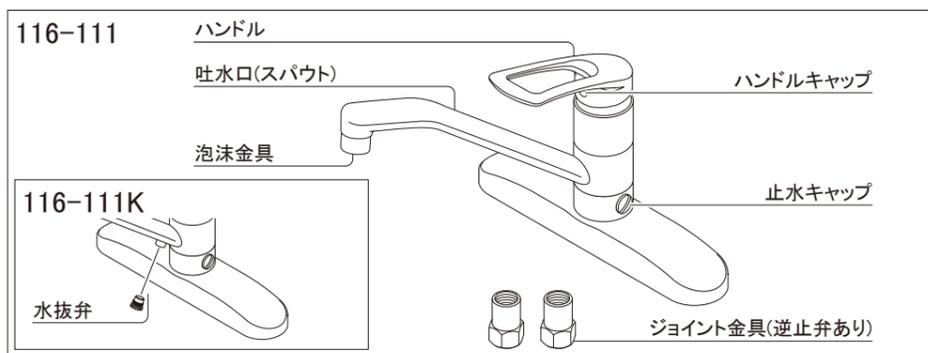
製品同梱明細

■施工される際は、この取扱施工説明書の製品同梱明細で各部材を確認してください。

品番	取付穴径 (mm)	本体	(逆止弁あり) (2金具)	(逆止弁なし) (2金具)
116-110	φ23~26	○	○	—
116-110K	φ23~26	○	—	○
116-111	φ23~26	○	○	—
116-111K	φ23~26	○	—	○

*上記部材に加えて、
●取扱施工説明書 ●安全上のご注意 ●保証書 ●六角レンチ(対辺2.5ミリ)を同梱しています。

各部のなまえ



*品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

施工に必要な工具

*品名の下に品番のある工具は 弊社の製品です。

●モンキーレンチ



●水栓修理レンチ (弊社品番:9601)

または



●立水栓取付工具

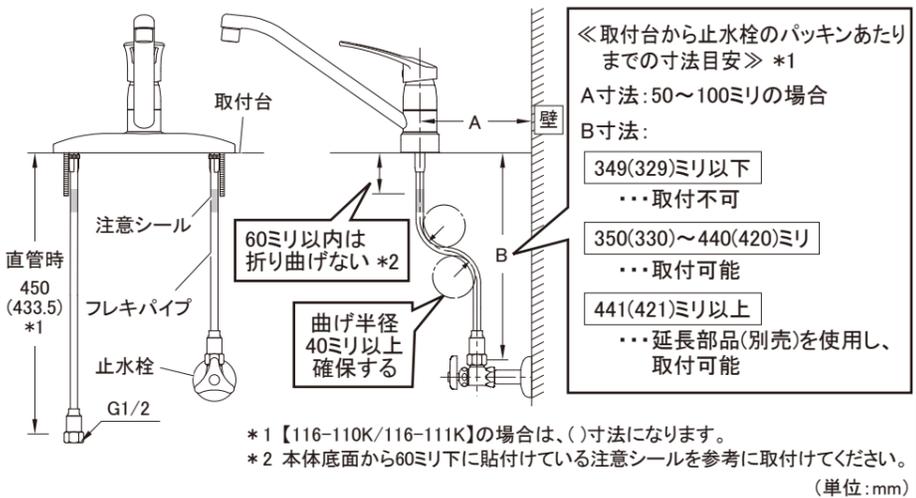


取付けの前に

*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を開けて取付作業を行ってください。
*取付作業を行う前に下記の事項をご確認ください。

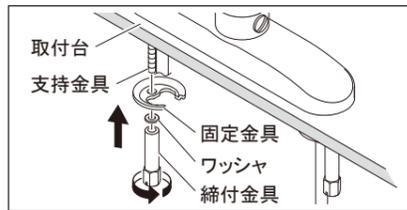
《取付条件》

取付けの前に、取付台から止水栓までの長さを確認し、正しく施工してください。



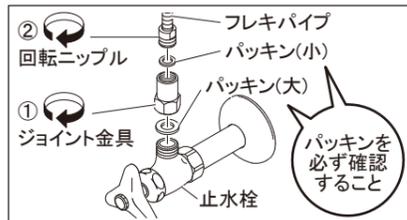
取付方法

1. 混合栓本体を取付けます。



- ①本体底面に発泡シートが貼られているのを確認します。
- ②混合栓本体が正面を向くように取付台に差込みます。
*混合栓本体に「後側」シールが貼付けられている場合は、「後側」シールを真後ろに合わせます。
- ③固定金具・ワッシャの順で支持金具に差込み、締付金具を「立水栓取付工具」などでしっかりと締付け、混合栓本体を確実に固定します。

2. 止水栓を接続します。



- ①ジョイント金具の下側のネジ部にパッキン(大)をはめ込み、止水栓に「レンチ」などで締付けて接続します。
- ②ジョイント金具の上側のネジ部にパッキン(小)をはめ込み、フレキパイプ先端の回転ニップルを「レンチ」などで締付けて接続します。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れに注意してください。

禁止

- 給水・給湯フレキパイプは根元から急激に曲げないでください。フレキパイプに傷が付き、強度が失われたり、フレキパイプがつぶれて通水路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また漏水を起こす恐れがあります。
- 屈曲を繰返さないでください。フレキパイプが破損して漏水する恐れがあります。

60ミリ以内折り返し不可

必ず実行

- 給水・給湯フレキパイプの曲げ半径は、40ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、フレキパイプがつぶれて通水路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。
- フレキパイプが取付台(シンクなど)や配管(特に金属部品)などに触れないようにしてください。漏水を起こす恐れがあります。
- フレキパイプは確実に固定された止水栓に接続してください。固定が不完全な場合、ウォーターハンマーなどの振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

曲げ半径 40ミリ以上

注意

- フレキパイプの(湯)水シールを確認して、逆配管にならないように設置してください。
- 給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

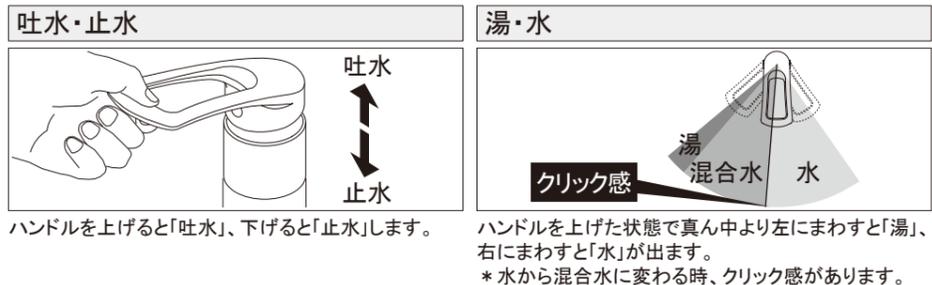
取付後の点検

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
- ②ハンドルを中央位置で上げて左右にまわし、湯水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、「こんな時には...簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

使用方法

禁止 フレキパイプに塩素系の洗剤を使用したり、ほこりや鉄粉等が付着したまま放置しないでください。腐食が発生し、漏水による拡大損害につながります。

●ハンドルの操作方法



- 必ず実行**
- 湯を使用する際は、必ずハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へまわし、お好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
 - ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に操作しますとウォーターハンマー(衝撃音)が生じ、配管から漏水を起こす恐れがあります。
- 注意**
- ハンドルを操作する際は、ハンドルと本体の間に指などはさまないように注意してください。

●分水孔の使用方法 (116-111、116-111Kのみ)

分水孔アダプターを使って、混合栓から湯・水を分水することができます。
*分水する場合は、別売の分水孔アダプター(品番:019-001)をお求めください。

*下記イラストは、水を分水する場合です。

- ①止水栓または元栓を開けて、水が出ないようにします。
- ②分水する側の止水キャップを「太めのマイナスドライバー」などで取外します。「レンチ」などで分水孔アダプターを分水孔にしっかりと取付けます。
*取外した部品は大切に保管しておいてください。
- ③接続するホースやバルブなどにパッキンが入っているのを確認した後、分水孔アダプターに取付けます。
- ④止水栓または元栓を開いて通水し、水もれがないか確認します。

必ず実行

- 分水孔を使用する場合は、必ず接続する器具の取扱施工説明書で使用温度や使用条件などを確認のうえ、正しく使用してください。
- ホースやバルブなどを取付ける場合は、分水孔アダプターがゆるまないように注意してください。締付け方がゆるいと、漏水を起こし家財などを濡らす恐れがあります。

注意

- 湯を分水する場合は、高温の湯が出てくる恐れがありますので十分注意してください。やけどをする恐れがあります。

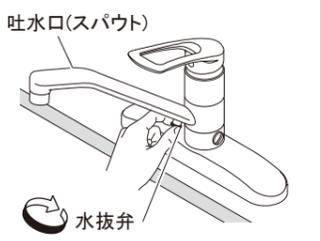
裏面へ続く➡

凍結防止方法

●寒冷地用の水抜き方法

凍結の恐れがある場合は、使用後に水抜きを行ってください。

- ①配管の水抜栓を操作して、水が出ないようにします。
- ②ハンドルを中央位置で上げ、吐水状態にします。
- ③吐水口(スパウト)下部の水抜弁を取外し、水を抜きます。
* 水抜弁は水抜き以外の目的で開けないでください。
- ④ハンドルを湯側いっぱい上げて、水を抜きます。
- ⑤吐水口(スパウト)から水が出なくなったら、水側いっぱい上げて水を抜きます。
* 水抜後は必ずゆるめた箇所を元に戻してください。
* 水栓に解氷機は絶対に使用しないでください。



注意 水抜きをする際は、混合栓本体や吐水口(スパウト)、水抜弁が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますので注意してください。やけどの恐れがあります。

●一般地用の凍結防止方法

凍結の恐れがある場合は、下記内容の予防を行ってください。

凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防をしてください。

- 配管を保温する。
- 水栓から水を少量出しておく。(目安として1分間に牛乳ビン1本分程度)



* 凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

お手入れのしかた

●泡沫内芯のお掃除



最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

●器具のお手入れ



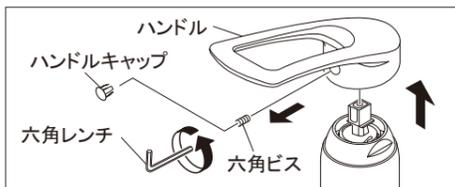
いつまでも美しくご使用いただくために。

- 水栓器具の金属部は…
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

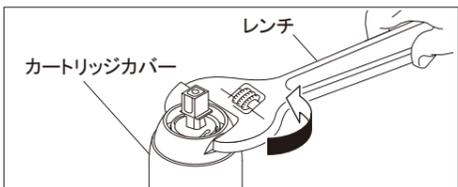
注意 金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

カートリッジの交換方法

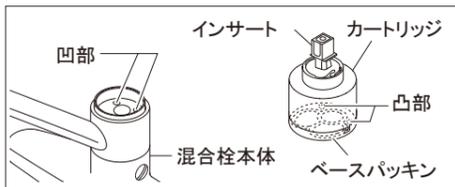
* 作業の前に、必ず止水栓または元栓を開けて止水してください。



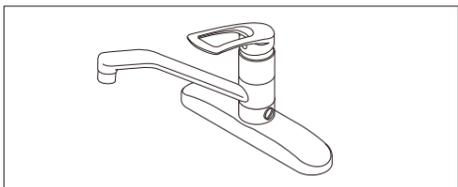
①ハンドルキャップを取外します。付属の「六角レンチ」で六角ビスをゆるめ、ハンドルを上へ取外します。
* 六角ビスはなくさないようにしてください。



②カートリッジカバーに「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。



③古いカートリッジを抜取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンがついているのを確認してから、底の凸部が混合栓本体の凹部に合うように差込みます。



④①～②の逆の手順で組直します。

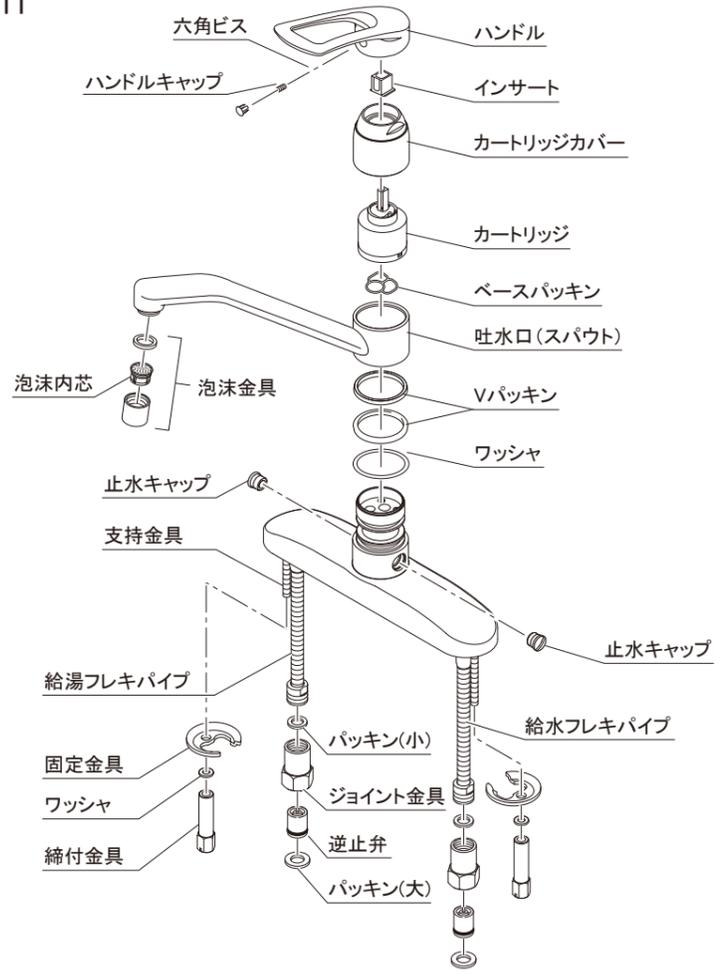
* 取付後は止水栓または元栓を開いて通水し、必ず漏水がないかを確認してください。

取付時の注意

- ハンドル内にインサートが残っている場合は、インサートを取外してください。
- カートリッジ底にベースパッキンがあることを確認してください。
- カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部に合わせてください。
- カートリッジカバーは適度な力で締付けてください。(締付け過ぎるとハンドルが操作しづらくなります。)

分解図

116-111



* 表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

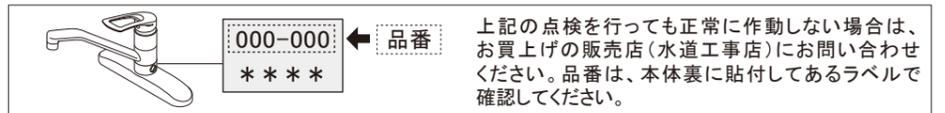
こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に上記分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた	
温度調整不良	高温しか出ない	●水側の止水栓が閉まっている ●給湯圧より給湯圧の方が高い	●水側の止水栓を調節する ●止水栓を調節する
	低温しか出ない	●湯側の止水栓が閉まっている ●給湯圧より給湯圧の方が高い ●給湯機の能力(給湯機の異常)	●湯側の止水栓を調節する ●水側の止水栓を調節する ●別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください。
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の止水栓が閉まっている ●泡沫内芯の目詰まり	●適正水量になるまで止水栓を開く ●泡沫内芯のゴミを取除く
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない ●湯・水側の止水栓が閉まっている	●湯・水の元バルブを開く ●適正水量になるまで止水栓を開く
止水不良	止水できない	●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する
	ハンドル下より水もれ	●カートリッジカバーがゆるい ●ベースパッキンの異常	●カートリッジカバーを締める ●カートリッジを交換する
	吐水口回転部付近から水もれ	●Vパッキンの磨耗または損傷	●Vパッキンを交換する
操作しづらい	●ハンドルのガタつき	●付属の「六角レンチ」でハンドルの六角ビスを締直す	
ハンドルがかたい	●カートリッジカバーの締め過ぎ	●カートリッジカバーを適度な力で締直す	
	●カートリッジの異常	●カートリッジを交換する	

分解禁止 本体内蔵のシングルレバーカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

●修理を依頼されるときは



上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルで確認してください。